

# 縫製加工

縫工訓

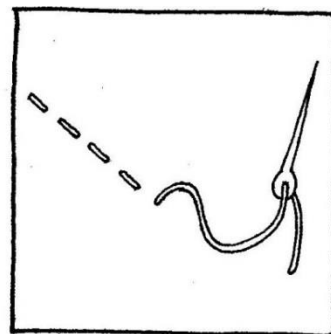
## 一針一心

### 目 標

- 1 布を主材料とし、質の高い製品作りを行うための知識、技能、態度を養う。
- 2 アイロン作業やミシンでの縫製作業を通して集中力や正確性を高める。
- 3 道具や機械の名称や扱い方を知り、安全に作業を進める態度と技能を養う。

### 【指導する上で大切にしていること】

- 工程表を活用して分かりやすい説明をし、見通しをもって取り組める環境を作る。
- 分業制で作業を行い、自分の作業に責任をもち、正確に行う意識を高める。



### 【製品作りで心がけていること】

- お客様のことを思い、丁寧で正確な作業を行い、質の高い製品を作る。
- 安全に気を付け、作業効率を考え、より多くの製品を作る。

### 【学習内容】

1 年生	2 年生	3 年生
縫工室の使い方や清掃の仕方、裁縫道具の名称や使い方を覚える。手縫いの基礎練習とミシンの基礎練習を行う。 その後、自分が使うエプロン、三角巾、アームカバー、巾着袋を製作する中で基礎的な技能を身に付ける。 自分の裁縫道具を使用し、卒業後も活用できるようにしている。	職場での作業形態を意識し、分業制で製作に取り組んでいる。 エプロンを中心にエコバッグやアームカバーなどの日用品を製作する。 新たに工業用ミシンや職業用ミシン、ロックミシンを使用する。学校の道具と材料を使用することで自分のものではなく製品を作ること意識できるようにしている。	かっぽう着をはじめ、かばんやポーチなど日用品を製作している。 必修班は、手縫いの基礎を向上させるため、全国高等学校被服製作技術検定4級を受検する。また、愛知県障害者技能競技大会（縫製部門）に出場する生徒もいる。選択班はランチバッグを製作し、校外で販売する取組を行っている。 作業効率の向上を目指し、より正確に責任をもって製作に取り組んでいる。



アームカバー  
ティッシュケース



ポケットいっぱい  
トートバッグ



ランチバッグ



かっぽう着